

2018年6月22日

いすゞ、大型トラック「ギガ トラクタ」を改良して発売

-平成 28 年排出ガス規制と平成 27 年度燃費基準への対応-

いすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、社長：片山正則、以下「いすゞ」)は、大型トラック「ギガ トラクタ」を改良し、本日より全国一斉に発売します。



今回の改良では、本年 9 月より施行される平成 28 年排出ガス規制に対応しつつ、省燃費性能を実現。また車型ラインアップをさらに充実させ、運行中の利便性も向上しました。

主な特長は以下の通りです。

【排出ガス規制への対応と燃費を両立】

- ・エンジンについて冷却系を中心に性能を向上させることにより、平成 28 年排出ガス規制への対応と主力馬力帯でそれぞれ平成 27 年度燃費基準+5%達成しました。*
さらに、スモーカーGx については地図情報を活用したオートクルーズ機能「Smart グライド+g」を新たに採用。道路状況から最適なギヤ段を自動選択し、さらなる省燃費に貢献します。

※車両総重量 20 トン以下にて、460PS 車は ecostop 付、420PS 車はスモーカーGx 車(ecostop 付)が平成 27 年度燃費基準+5%達成の条件となります。400PS 車は全車で平成 27 年度燃費基準+5%を達成しています。

【車型ラインアップの充実】

- ・スモーカーGx 専用、クラス最大のトルク値となる 420PS/トルク 230kg・m エンジンを新たに展開。低回転域で最大トルクに到達し、460PS 同等のトルクカーブを有することで高 GCW ニーズにも対応した性能を実現します。

- ・積載重量と容積を最大限にした新規規格トレーラ(トレーラ前回り 2m 級)に対応するため、4×2 エアサスセミトラクタ(EXD)にホイールベース G(3830mm)の第 5 輪荷重 11.5 トン車を新規設定します。
- ・第 5 輪荷重 11.5 トン車には、カプラオフセットの変更が可能なスライドカプラを展開。これにより 1 台のトラクタでキングピン荷重や前回り/すそ回り半径が違う複数のトレーラに対応が可能となります。

【運行中の利便性向上】

- ・ETC2.0 を全車に標準設定し、運行中の利便性向上に貢献します。また、ヘッドランプおよび室内灯の LED 化とメーター照明の常時点灯化を実施することにより視認性が向上しています。

<目標販売台数>

10,000 台 / 年(ギガシリーズ全体)

<東京地区希望小売価格>

車型	主な仕様	エンジン トランスミ ッション	東京地区希望小売価格	
			消費税抜	消費税込
2PG- EXD52CD	平成 28 年排出ガス規制適合 平成 27 年度燃費基準+5%達成 フルキャブ・エアサスペンション	6WG1-TCN 309kW(420PS) 12 速 AMT	18,049,000 円	19,492,000 円

以上